



愛知県教育委員会飯田教育長様

2023年6月26日

請願者 行政を考える住民の会
事務局 宮崎邦彦

連絡先

「指導死」についての、理解と防止のための研修を行うことを求める、請願

請願の理由、経過

- 1 「指導死」徹底調査を要望児童生徒の自殺で遺族団体（資料1 2023年5月29日共同通信）

教員らの体罰や厳しい指導で児童生徒が自殺する「指導死」をなくそうと活動する遺族グループが、29日原因調査の徹底を求める要望書を文部科学省とこども家庭庁に提出した。

グループによると、・・・2021年度は「原因不明」の割合が6割近くに上がった。

- 2 要望書では、原因を詳しく調べて国に報告する制度の導入や、不適切な指導を防ぐ研修を行うことを求めた。とある。

- 3 「先生の言葉1つで、生徒が死ぬ」（資料2 2023年1月25日 朝日新聞）

子を亡くした親の思い 優実子さんの息子・恭平さんは2011年6月、自らの命を絶った。愛知県立高校の野球部員だった。最後にこう語りかけた「みなさんの一挙手一投足が、子どもに与える影響の大きさ知っておいてください。先生の言葉、目線1つで、生徒が死ぬしかないようなことになる存在でもあるのです。とある。

- 4 教師による指導死は33年間で107件 行き過ぎた指導が、こどもの命を奪う（資料3 AERA2023・1・30）以下引用して記載する。

未遂を含め1989年から2022年3月まで33年間で、107件に上がった。

1年に3人以上教師の指導で子供がなくなっていることになる。とある。

（資料3から）、指導死が起きる背景に「ダークペダゴジー（闇の教授法）」があると言う。結果の妥当性だけを重要視ということである。

教育を進めるにあたって「結果の妥当性」とそれに至る「手続きの妥当性」の両方を大事にしなければいけません。ということである。

「ダークペダゴジー」は結果の妥当性だけを重視します。体罰や行き過ぎた指導があっても、成績が良くなると結果が伴っていれば手続きが正当化できると考えるのです。・・・具体的には、暴力、強制、嘘やごまかし、など・・・不適切な指導が該当する。

「ダークペダゴジー」を生み出す背景には、「自分も体罰で成長した」という・・・教師の教育信念などがある。ということである。

主要因は多忙な教師の働き方にあるという。疲弊し、たまったストレスは攻撃性や不寛容を生みダークペダゴジーに頼る危険性が高まる。ということである。

請願事項

- 1 愛知県立高校の「指導死」事案（2011年含む）に関する情報についての、認識を深めること
- 2 「指導」における、児童生徒との向き合い方についての確立と確認を行うこと。
- 3 指導に当たり、結果の妥当性と、それに至る手続きの妥当性、両方を大切にすること

添付資料 資料1 2023年5月29日 配信 共同通信

資料2 2023年1月25日 朝日新聞

資料3 2023・1・30 AERA

口頭意見陳述希望